

平成24年度実績評価書
(要旨)

平成 2 5 年 7 月
国家公安委員会・警察庁

凡 例

1 達成度の評価の基準について

達成（記号：○）

指標を全て達成していると認められるもの

おおむね達成（記号：△）

指標を全て達成しているとは認められないが、総合的に見て達成の度合いが半分を超えていると認められるもの

達成が十分とは言い難い（記号：□）

指標を全て達成しているとは認められないもの

2 刑法犯及び特別法犯について

刑法犯

特に断りのない限り、道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火災びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

特別法犯

上記の「刑法犯」以外の罪をいう。ただし、特に断りのない限り、道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷及び自動車運転過失致死傷並びに「道路交通法」、「道路運送法」、「道路運送車両法」、「道路法」、「自動車損害賠償保障法」、「高速自動車国道法」、「駐車場法」、「自動車の保管場所の確保等に関する法律」、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」、「タクシー業務適正化特別措置法」、「貨物利用運送事業法」、「貨物自動車運送事業法」、「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」及び「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律」に規定する罪を除く。

なお、特別法犯については、原則として認知件数は計上していない。

政策体系(国家公安委員会・警察庁)

基本目標	業績目標	ページ
1 市民生活の安全と平穏の確保	1 総合的な犯罪抑止対策の推進	1
	2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化	2
	3 良好な経済活動等の確保及び環境破壊等の防止	3
2 犯罪捜査の的確な推進	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上	4
	2 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化	5
	3 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化	6
	4 科学技術を活用した捜査の更なる推進	7
	5 被疑者取調べの適正化の更なる推進	8
3 組織犯罪対策の強化	1 暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化	9
	2 来日外国人犯罪対策の強化	10
4 安全かつ快適な交通の確保	1 歩行者・自転車利用者の安全確保	11
	2 運転者対策の推進	12
	3 道路交通環境の整備	13
5 国の公安の維持	1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処	14
	2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処	15
	3 対日有害活動、国際テロ等の未然防止及びこれら事案への的確な対処	16
6 犯罪被害者等の支援の充実	1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実	17
7 安心できるIT社会の実現	1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止	18

基本目標1 市民生活の安全と平穩の確保

業績目標1 総合的な犯罪抑止対策の推進

業績目標達成のために行った主な施策

- 街頭防犯カメラの整備の促進
- 防犯ボランティア団体相互のネットワークづくりの推進
- 子供女性安全対策班による先制・予防的活動等の推進
- 携帯電話メール等による犯罪情報や地域安全情報の提供
- 防犯優良マンション等防犯性に優れた住宅の普及の促進
- 防犯性能の高い建物部品の開発・普及の促進
- 非行少年の立ち直り支援に係る施策の推進
- 繁華街・歓楽街を再生するための総合対策の推進
- 猟銃等の所有者に対する指導の強化及び講習会の充実



地域住民による子供の見守り活動

評価結果の概要等

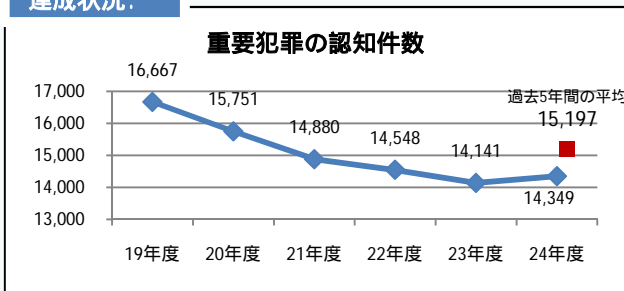
評価結果:

業績指標 : 地域住民等の安全を脅かしている犯罪(注)の認知件数

達成目標: 前年度よりも減少させる。

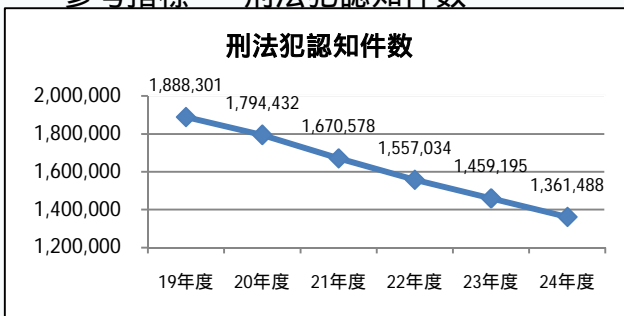
(注) 「治安に関する特別世論調査」(平成24年7月内閣府実施)及び各都道府県警察における重点的に抑止すべき犯罪の選定状況を総合的に勘案し、重要犯罪及び住宅対象侵入犯罪を地域住民等の安全を脅かしている犯罪として選定した。

達成状況:

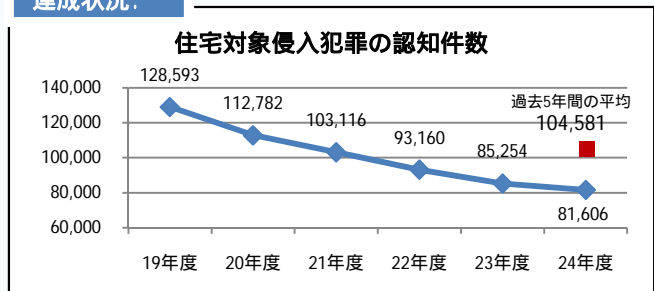


24年度の重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ)の認知件数は、過去5年間の平均値と比べて低い水準を維持したものの、前年度から増加し、目標の達成が十分とは言い難い。

参考指標 刑法犯認知件数



達成状況:



24年度の住宅対象侵入犯罪(住宅強盗、住宅対象侵入窃盗(空き巣、忍込み及び居空き)及び住居侵入)の認知件数は、前年度からの減少率(4.3%)が刑法犯認知件数の減少率(6.7%)を下回ったものの、前年度よりも減少し、過去5年間の平均値と比べても低い水準を維持したことから、目標をおおむね達成した。

上記のとおり、目標の達成が十分とは言い難い指標もあるが、刑法犯認知件数が昨年度に引き続き減少している状況を勘案すれば、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進

子供と女性を性犯罪等の被害から守るための取組 等

基本目標1 市民生活の安全と平穩の確保

業績目標2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化

業績目標達成のために行った主な施策

- 管内実態に即したパトロール
- 職務質問技能の伝承
- 交番相談員の増配置
- 初動警察刷新強化施策の定着化



(通信指令室)

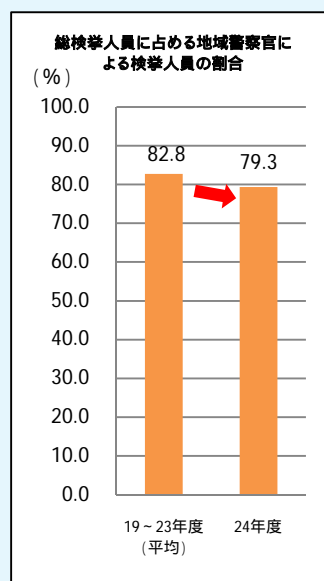
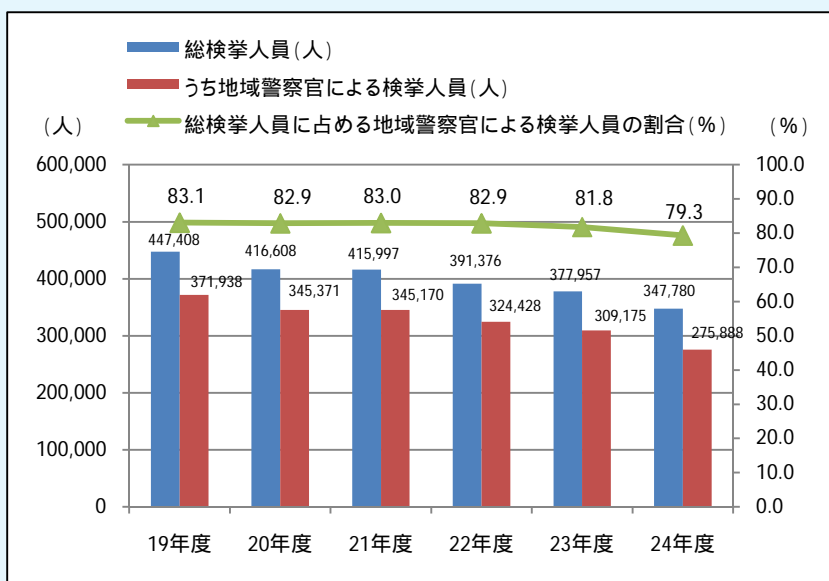
評価結果の概要等

評価結果：

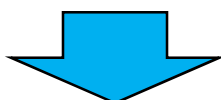
業績指標：刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合

達成状況：

達成目標：過去5年間並の高水準を維持する。



業績指標 については、刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合が過去5年間の平均と比べ3.5ポイント低下したものの、依然として80パーセント近い高水準を維持していることから、目標をおおむね達成した。



政策への反映の方向性

引き続き推進

パトロールによる犯罪の抑止及び検挙
街頭活動及び初動警察活動の強化 等

業績目標 3 良好な経済活動等の確保及び環境破壊等の防止

業績目標達成のために行った主な施策

犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供
 経済犯罪等（特に国民の健康を脅かす蓋然性が高い
 事犯）の取締りの推進
 関係機関・団体との連携の推進



（悪質業者が販売していた未公開株）

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：経済犯罪等の検挙事件数及び検挙人員

達成目標：経済事犯等について、次のとおり取締りを推進する。

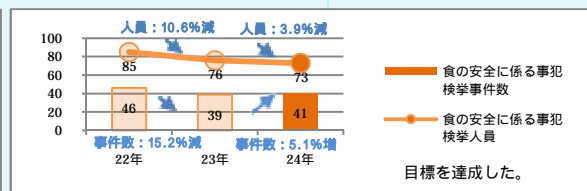
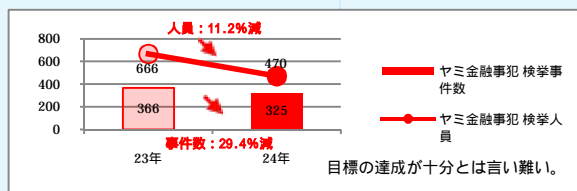
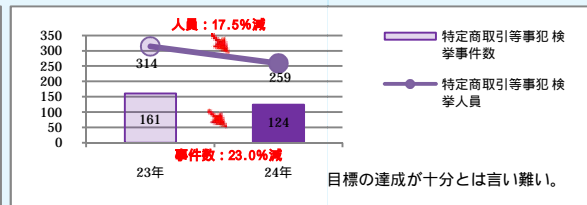
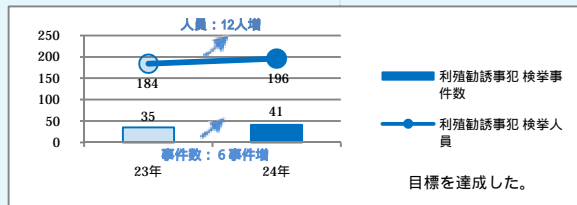
利殖勧誘事犯：前年よりも増加させる。

特定商取引等事犯：前年並の水準を維持する。

ヤミ金融事犯：前年並の水準を維持する。

食の安全に係る事犯：23年中の検挙事件数及び検挙人員の前年比増減傾向を踏まえた水準を維持する。

達成状況：



業績指標：経済犯罪等に係る犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供件数

達成目標：前年よりも増加させる。

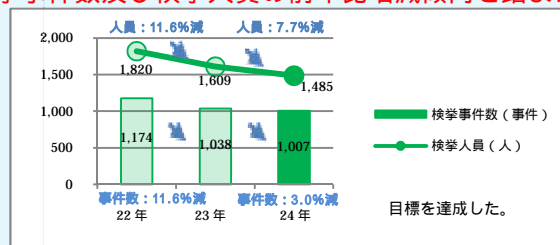
・24年の情報提供件数は29,086件（前年比4,575件増）

達成状況：

業績指標：産業廃棄物事犯の検挙事件数及び検挙人員

達成目標：23年中の検挙事件数及び検挙人員の前年比増減傾向を踏まえた水準を維持する。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

悪質な事犯に重点を置いた取締り
 犯罪利用口座凍結のための金融機関への情報提供 等

業績目標 1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上

業績目標達成のために行った主な施策

- 情報分析支援システム（CIS-CATS）の活用
- 捜査特別報奨金制度の活用
- DNA型鑑定の積極的活用
- 検視官の増強等、検視体制の強化



（DNA型鑑定の状況）

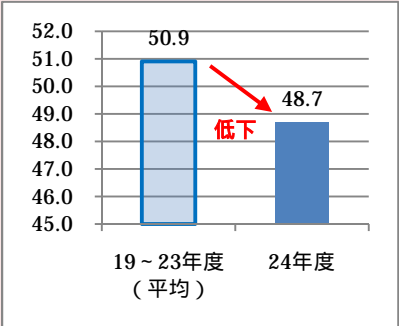
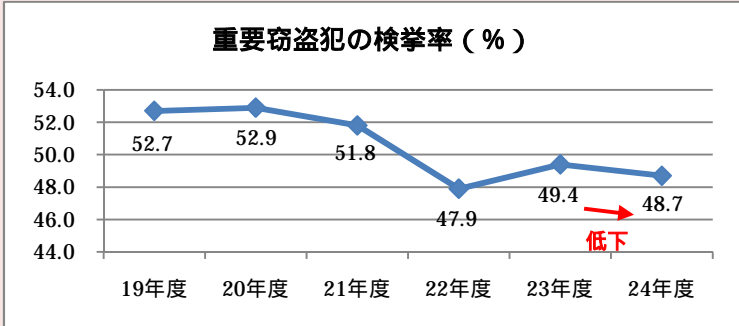
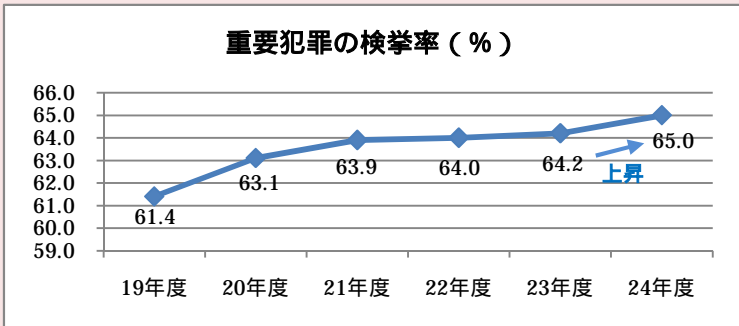
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：各重要犯罪・重要窃盗犯の検挙率

達成目標：殺人、強盗、強姦、侵入窃盗、自動車盗等の検挙率を過去5年間の平均値よりも向上させる。

達成状況：



重要窃盗犯の検挙率は過去5年間の平均と比べ低下しているものの、重要犯罪の検挙率は過去5年間の平均と比べ上昇しており、目標をおおむね達成した。



政策への反映の方向性

引き続き推進

- 情報分析支援システムの効果的活用
- 捜査特別報奨金制度の活用
- DNA型鑑定の積極的活用
- 検視官の増員等、検視体制の強化 等

業績目標 2 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化

業績目標達成のために行った主な施策

政治・行政をめぐる構造的不正事案の捜査の現状、問題点及び捜査指揮についての研修の実施
 経済的不正事案の捜査における財務捜査の活用、指揮能力の向上等を目的とした研修の実施
 全国会議の開催

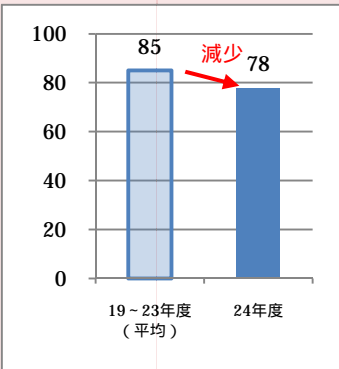
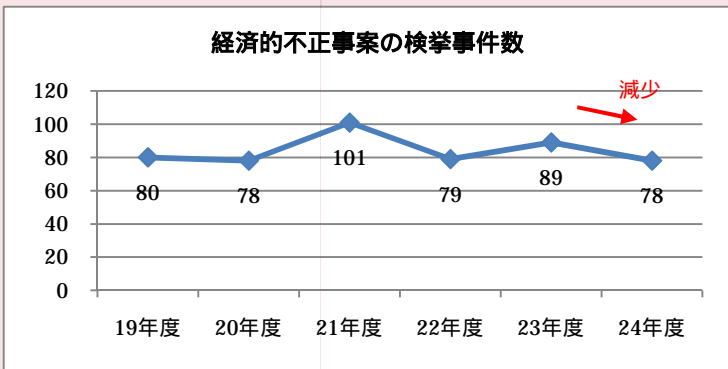
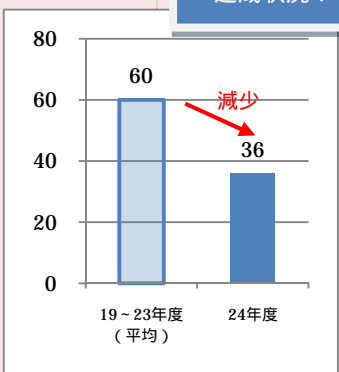
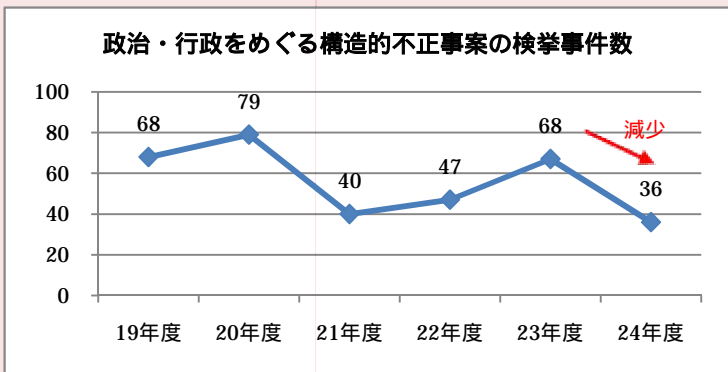
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：政治・行政・経済の構造的不正に係る犯罪の検挙状況

達成目標：政治・行政・経済の構造的不正に係る犯罪の検挙を推進する。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

- 各都道府県警察に対する
 - ・各種情報の収集・分析のための取組の強化
 - ・捜査体制の見直し・整備
 - ・捜査員の育成・確保を目的とした取組の強化の指導等

基本目標 2 犯罪捜査の的確な推進

業績目標 3 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化

業績目標達成のために行った主な施策

- 総合的な特殊詐欺対策の推進
- 関係警察相互の連携
- 広報啓発活動の推進
- 犯罪収益移転防止法及び携帯電話不正利用防止法の活用の推進

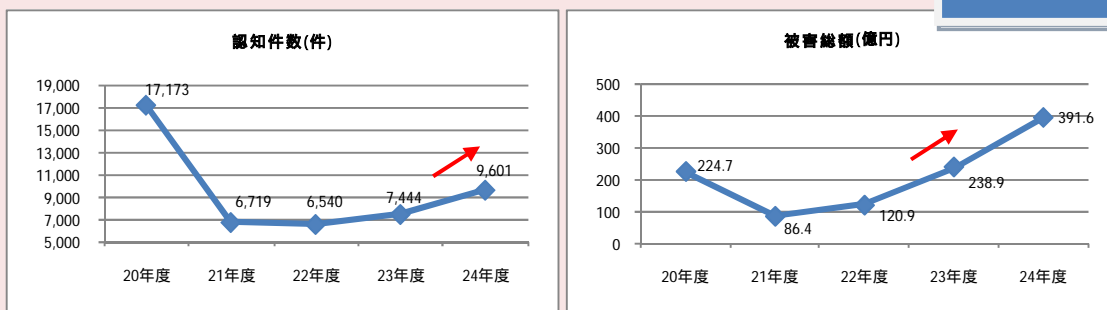
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：特殊詐欺の認知件数及び被害総額

達成目標：過去最低であった22年度よりも減少させる。

達成状況：



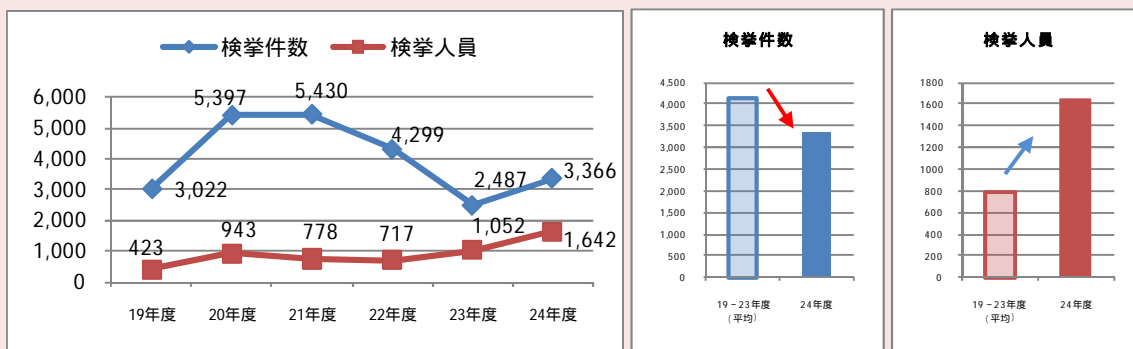
22年度以降の被害総額は、キャッシュカード等受取型のオレオレ詐欺におけるATMからの引出(窃取)額を含む。特殊詐欺全体の認知件数・被害総額については22年度から集計。

- 認知件数の増加理由は、還付金等詐欺、金融商品等取引名目の詐欺が増加したため。
- 被害総額の増加理由は、オレオレ詐欺及び金融商品等取引名目の詐欺が増加したため。

業績指標：特殊詐欺の検挙件数及び検挙人員

達成目標：過去5年間の平均値よりも増加させる。

達成状況：



特殊詐欺全体の検挙件数・検挙人員については23年度から集計。

- 検挙人員の増加理由は、だまされた振り作戦による現場設定型検挙が全国で一定程度定着したことや、現に犯行を繰り返す犯行グループに指向した取締りの徹底、犯行拠点の摘発が挙げられる。

政策への反映の方向性

引き続き推進

被害の抑止に資する取締活動の徹底

「現金受取型」のオレオレ詐欺の増加を踏まえ、「だまされた振り作戦」による現場検挙、突き上げ捜査による上位被疑者の検挙等。

官民一体となった被害防止対策の推進

「家族の絆」の醸成や「留守番電話作戦」の実施の働き掛け、捜査の過程で入手した名簿の登載者に対する戸別訪問やコールセンターによる注意喚起、金融機関等における声掛け等。

業績目標 4 科学技術を活用した捜査の更なる推進

業績目標達成のために行った主な施策

- DNA型鑑定及びデータベースの積極的活用の推進
- DNA型鑑定基盤の整備
- 情報技術解析用資機材の増強等、情報技術解析に係る取組の強化



(DNA型鑑定の状況)

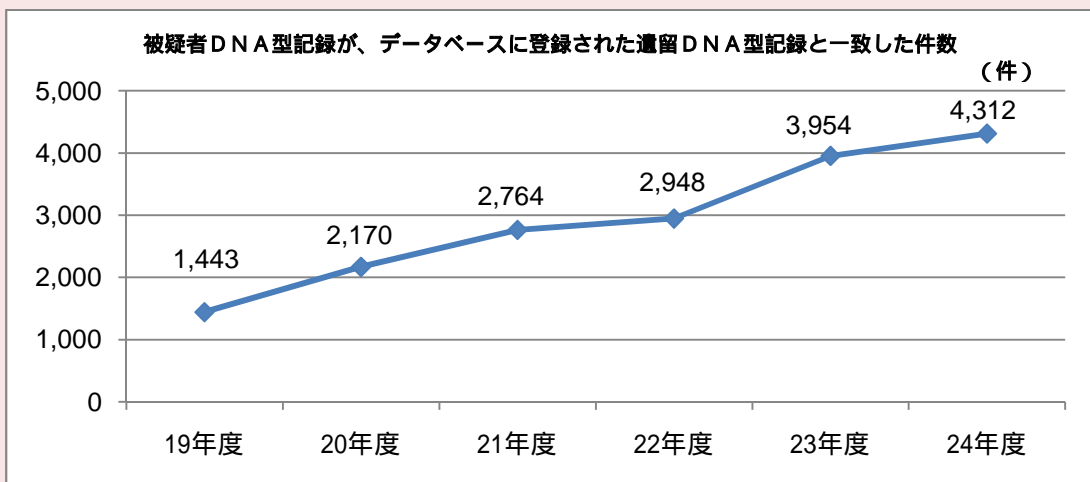
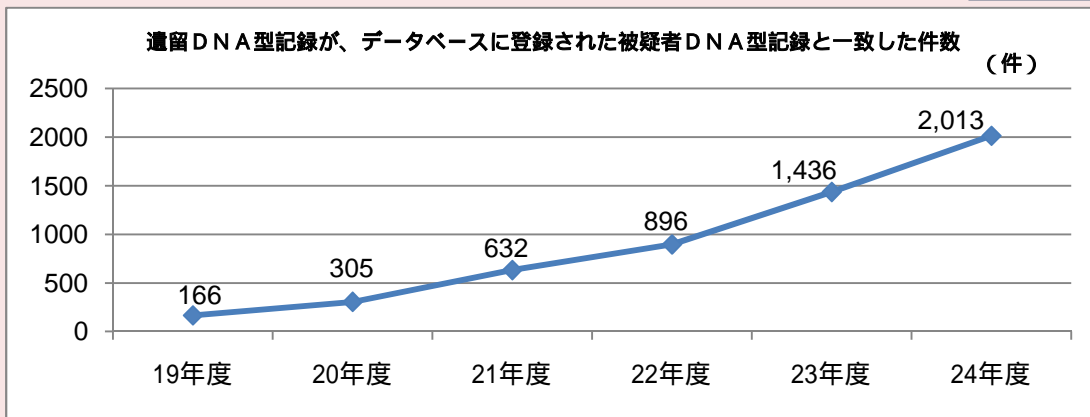
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：DNA型データベースの活用件数

達成目標：前年度よりも増加させる。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

DNA型鑑定等科学技術を積極的に取り入れた捜査の推進
人的・物的な体制の充実・強化 等

業績目標 5 被疑者取調べの適正化の更なる推進

業績目標達成のために行った主な施策

都道府県警察に対する巡回業務指導の実施等
研修（取調べ専科）等の実施

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：都道府県警察に対する巡回業務指導における指導状況

達成目標：全都道府県警察に対し、巡回業務指導を実施するなど、
被疑者取調べの適正化に係る指導を推進する。

達成状況：

- ・47 都道府県警察のうち 35 道府県警察に対する巡回業務指導を実施した。

業績指標：捜査に携わる者に対する適正捜査に関する研修等の実施状況

達成目標：警察庁及び全都道府県警察において取調べ技能専科を
実施するなど、捜査に携わる者に対する適正捜査に関する
研修等を推進する。

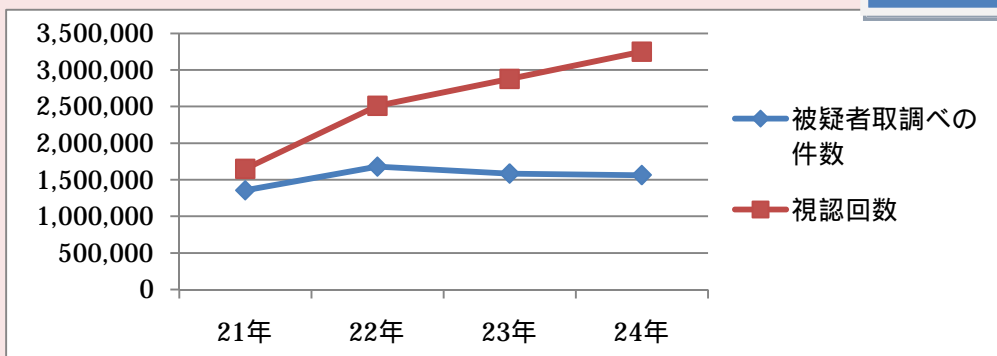
達成状況：

- ・全ての都道府県警察において、取調べの適正化を図るための研修が実施された。

業績指標：取調べ監督官等による取調べ室の外部からの視認回数

達成目標：視認回数が被疑者取調べ件数を超えて一定の水準に
達していること。

達成状況：



- ・1 件の被疑者取調べにつきおおむね 1 回以上の視認が確保されるとともに、事件の性質、被疑者の性格や認否の状況等に応じて、効果的な視認を行うことができたことから、目標を達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

捜査部門による取調べの適正化に関する巡回業務指導や研修の実施
取調べ監督部門によるチェック 等

基本目標3 組織犯罪対策の強化

業績目標1 暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化

業績目標達成のために行った主な施策

暴力団犯罪の取締りの強化
 暴力団対策法の積極的・効果的な運用
 暴力団に対する組織的犯罪処罰法の積極的適用
 各種暴力団排除活動の推進
 薬物密輸・密売組織の壊滅に向けた取締りの強化
 密輸・密売対策用資機材の整備
 国内関係機関との連絡会議、外国の取締機関との情報交換等による水際対策の強化



評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：暴力団構成員等の数

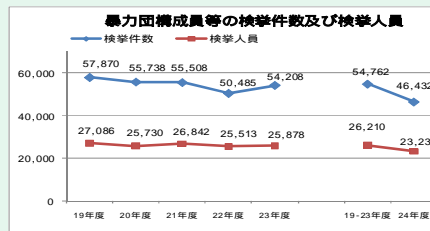
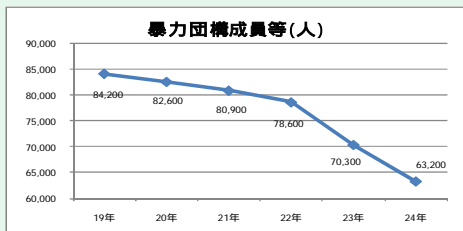
達成目標：前年よりも減少させる。

達成状況：

業績指標：暴力団構成員等の関与する事件の検挙件数及びこれら暴力団構成員等の検挙人員

達成目標：過去5年間の平均値よりも増加させる。

達成状況：



業績指標：薬物事犯の検挙件数及び検挙人員

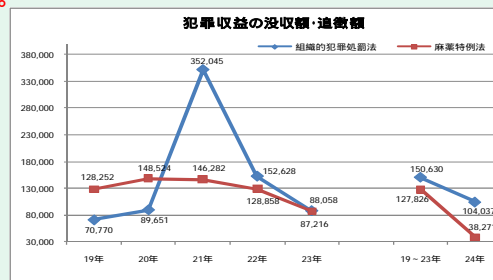
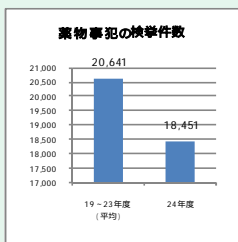
達成目標：過去5年間の平均値よりも増加させる。

達成状況：

業績指標：組織的犯罪処罰法及び麻薬特例法の適用による犯罪収益の没収額・追徴額

達成目標：過去5年間の平均値よりも増加させる。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

暴力団犯罪の取締りの徹底
 暴力団対策法の効果的な運用と暴力団排除活動の推進
 末端乱用者からの突き上げ捜査の徹底等の薬物対策
 関係法令等の活用による犯罪収益の剥奪等のマネー・ローンダリング対策 等

基本目標3 組織犯罪対策の強化

業績目標2 来日外国人犯罪対策の強化

業績目標達成のために行った主な施策

国際犯罪組織の実態解明及び来日外国人犯罪の取締り
外国人犯罪を助長する犯罪インフラへの対策の実施
各種協議等を通じた外国治安機関との連携強化



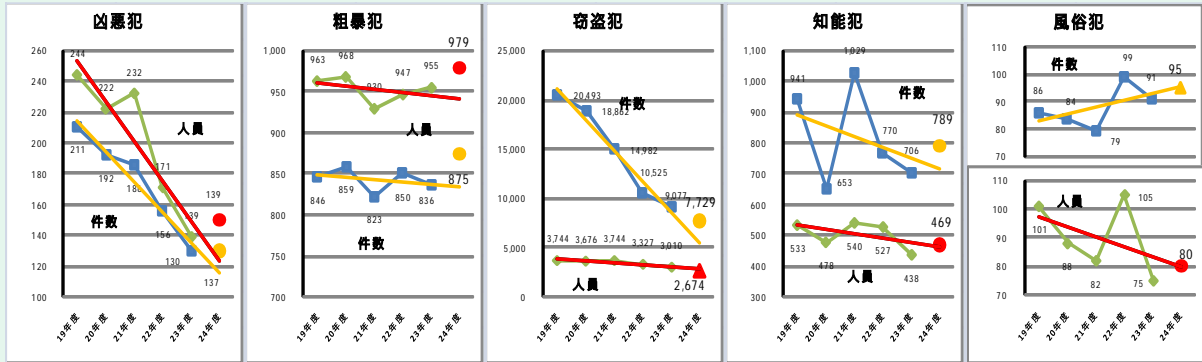
(自動車盗等犯罪の温床となるヤード)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：来日外国人犯罪罪種別検挙件数及び検挙人員
達成目標：来日外国人犯罪の取締りを強化する。

達成状況：

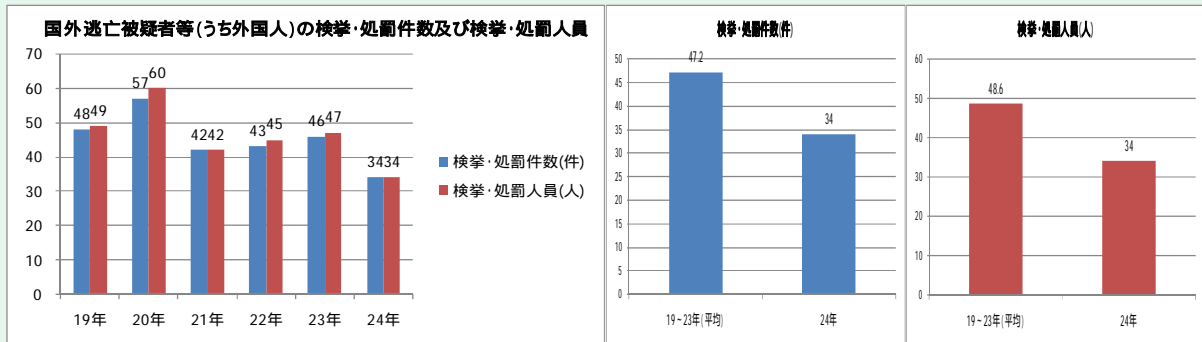


・業績指標 については、24年度の実績値について、包括罪種別に19～23年度の数値に係る回帰直線（分布している数値の傾向を示す直線）上の値と比較したところ、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯及び知能犯の検挙件数（回帰直線上の値は115.6件、848.6件、5,437.6件及び713.9件）並びに凶悪犯、粗暴犯、知能犯及び風俗犯の検挙人員（回帰直線上の値は123.3人、941.5人、460.9人及び79.7人）が上回っていることから、来日外国人犯罪の取締りは強化されており、目標をおおむね達成した。

業績指標：国外逃亡被疑者等（うち外国人）の検挙・処罰件数及び検挙・処罰人員

達成状況：

達成目標：過去5年間の平均値よりも増加させる。



政策への反映の方向性

引き続き推進

国際犯罪組織の実態解明
来日外国人犯罪の取締り
犯罪インフラ対策の実施 等

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 1 歩行者・自転車利用者の安全確保

業績目標達成のために行った主な施策

- 高齢者に対する交通安全教育の充実
- 通行ルールの周知徹底等自転車に係る交通安全教育の推進
- 自転車利用者の交通違反に対する指導取締りの強化
- 生活道路対策及び幹線道路対策の推進



(自転車教室)

評価結果の概要等

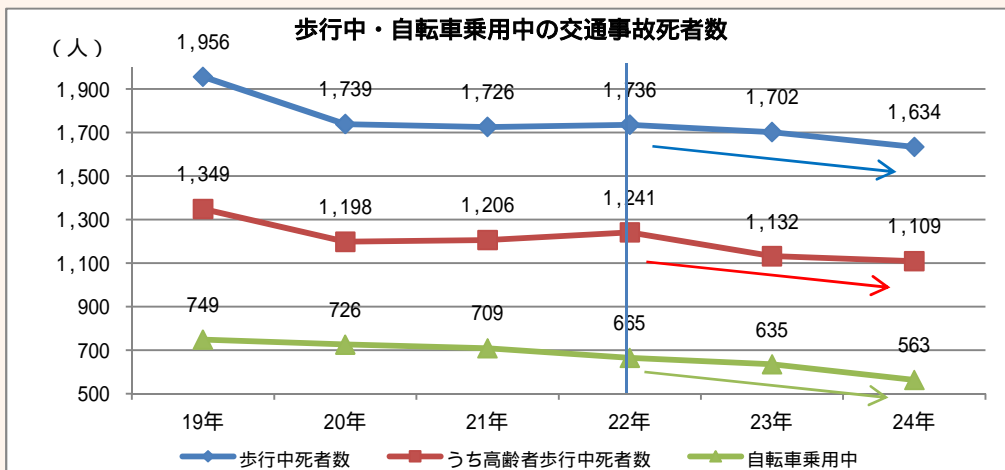
達成状況：

評価結果：

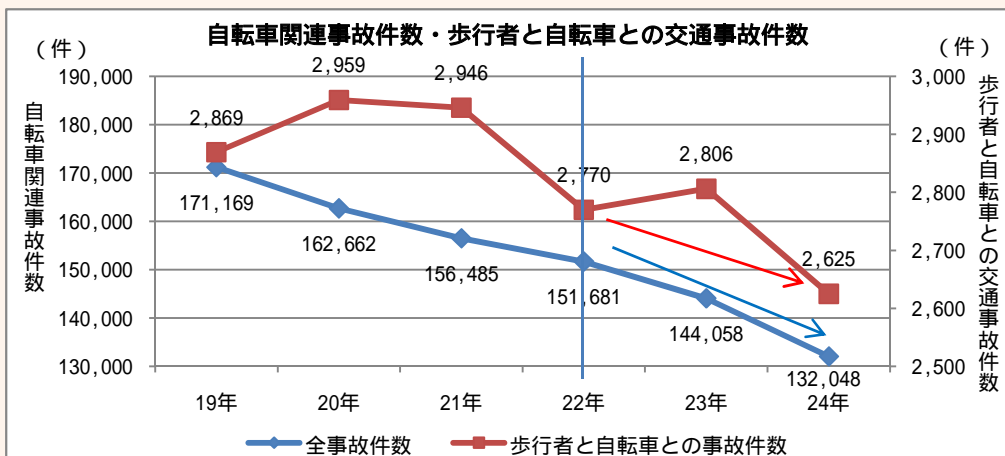
業績指標：歩行中・自転車乗用中の交通事故死者数及び歩行者・自転車の交通事故件数

達成目標：歩行中・自転車乗用中の交通事故死者数を22年よりも減少させる。
歩行中の交通事故死者のうち割合の高い高齢者の数を22年よりも減少させる。

(注) 第9次交通安全基本計画(23年度～27年度)の基準となる22年の実績値を評価基準とした。



達成目標：自転車関連事故件数を22年よりも減少させる。
歩行者と自転車との交通事故件数を22年よりも減少させる。



政策への反映の方向性

引き続き推進

自転車利用者に対するルールの周知
自転車利用者の交通違反に対する指導取締りの強化 等

基本目標 4 安全かつ快適な交通の確保

業績目標 2 運転者対策の推進

業績目標達成のために行った主な施策

- 国民の規範意識を確立するための広報啓発の推進
- 悪質性・危険性・迷惑性の高い運転行為への対策の強化
- 悪質・危険運転者に対する迅速・的確な行政処分の実施
- 信号灯器のLED化、道路標識の高輝度化等
- 講習予備検査の適正な実施
- 講習予備検査の結果等に基づく効果的な高齢者講習の実施



(高齢者講習)

評価結果の概要等

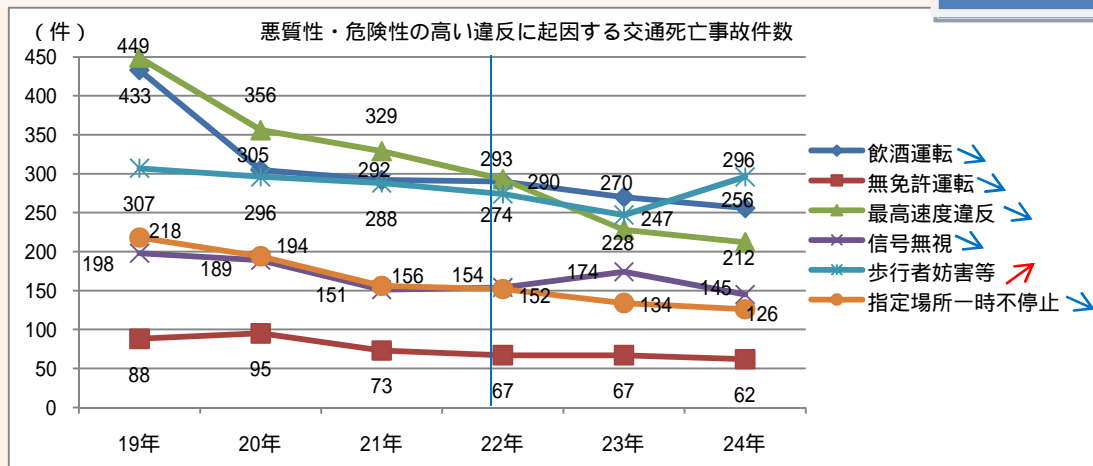
評価結果：

業績指標：悪質性・危険性の高い違反に起因する交通死亡事故件数

達成目標：22年よりも減少させる。

(注) 第9次交通安全基本計画(23年度～27年度)の基準となる22年の実績値を評価基準とした。

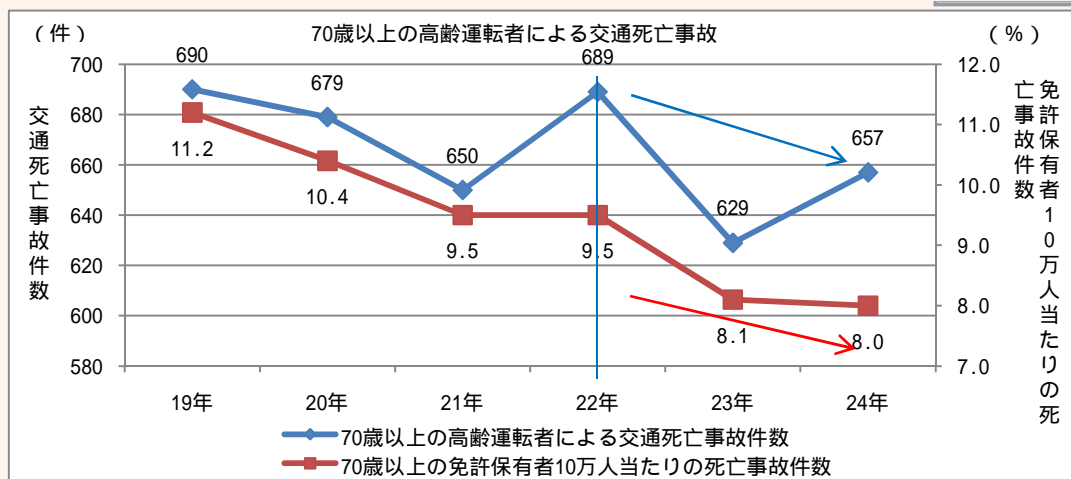
達成状況：



業績指標：70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数及び70歳以上の免許保有者10万人当たりの死亡事故件数

達成目標：22年よりも減少させる。

達成状況：



政策への反映の方向性

引き続き推進

悪質・危険運転者対策
高齢運転者対策 等

業績目標 3 道路交通環境の整備

業績目標達成のために行った主な施策

特定交通安全施設等整備事業

- ・ 信号機の集中制御化
- ・ 信号機の多現示化
- ・ 信号機の右折感応化 等



評価結果の概要等

評価結果：

達成状況：

業績指標：交通安全施設等の整備により抑止される死傷事故

達成目標：28年度末までに、信号機の高度化等により、約3万5千件/年抑止する。(24年度目標値：約7千件/年)

28年度末までに、事故危険箇所対策により、対策実施箇所における死傷事故を約3割抑止する。

(注)第3次社会資本整備重点計画(計画期間24年度～28年度)に定められた成果目標。

業績指標：信号制御の高度化等により実現される円滑な交通

達成状況：

達成目標：28年度末までに、信号制御の高度化により、対策実施箇所において通過時間を約9千万人時間/年短縮する。(24年度目標値：約1千800万人時間/年)

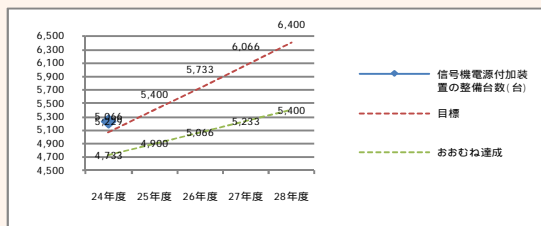
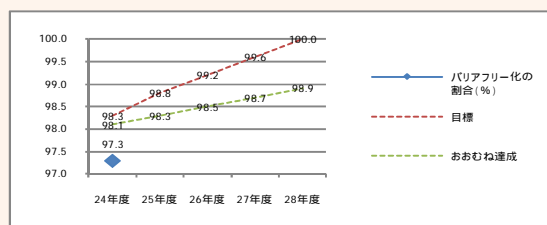
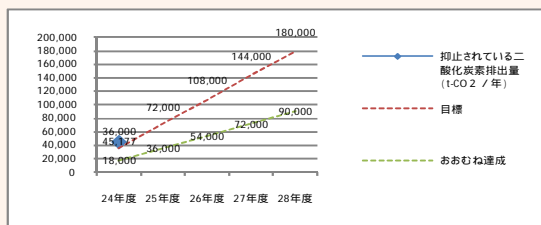
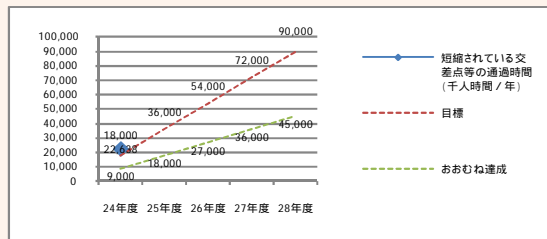
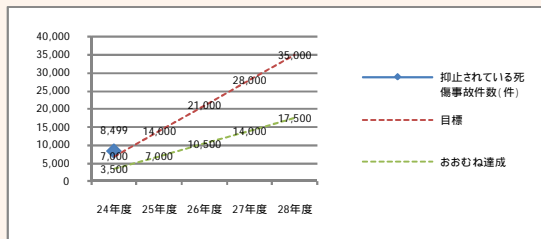
28年度末までに、信号制御の高度化により、二酸化炭素の排出量を約18万t-CO2/年抑止する。(24年度目標値：約3.6万t-CO2/年)

28年度末までに、重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路全てにおいて、バリアフリー対応型信号機等を整備する。(24年度目標値：約98.3%)

業績指標：停電による信号機の機能停止を防止する信号機電源付加装置の整備台数

達成目標：28年度末までに、信号機電源付加装置の整備台数を約6,400台にする。(24年度目標値：5,066台)

達成状況：



各年度の目標値は、5年間で最終目標に達成するように均等に配分した。目標値以上は「達成」、目標値の半分を超えた場合は「おおむね達成」とした。

政策への反映の方向性

引き続き推進

第3次社会資本整備重点計画に定められた成果目標を確実に達成するために特定交通安全施設等整備事業を推進 等

業績目標 1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処

業績目標達成のために行った主な施策

- 重要施設の警戒警備
- 重大テロ事案等対処に係る各種訓練
- 大規模警衛・警護警備
- 関係機関との情報交換等の連携
- 主要警備対象勢力による違法事案の取締り等



(重大テロ事案対処に係る訓練)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：重大テロ事案等の発生件数

達成目標：重大テロ事案等を未然に防止する。

達成状況：

- ・重大テロ事案等の予防鎮圧に向けた各種施策を推進した結果、国内における重大テロ事案等の発生はなかった。

業績指標：治安警備及び警衛・警護の実施状況

達成目標：国内外の情勢に応じた警備措置を行い、警備対象の安全を確保する。

達成状況：

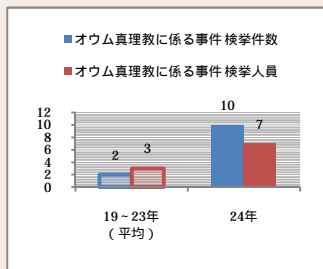
- ・国内外の情勢に応じた警戒警備、警衛・警護を推進したことにより、警備対象の安全が図られた。

業績指標：主要警備対象勢力に係る犯罪の検挙件数及び検挙人員

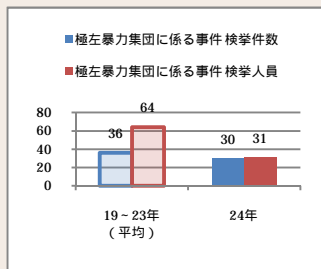
達成目標：主要警備対象勢力による違法事案の取締りを推進する。

達成状況：

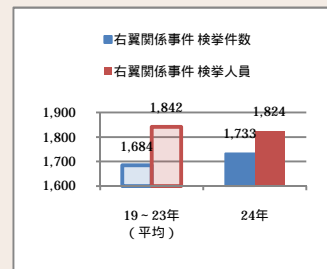
- ・オウム真理教関係警察庁指定特別手配被疑者を検挙（24年1及び6月、警視庁）
- ・中核派非公然アジトの摘発及び同派非公然活動家を公務執行妨害罪で逮捕（24年3月、警視庁）
- ・右翼団体幹部による詐欺事件等を検挙（24年7月から24年11月、大阪）



特別手配被疑者を検挙するなど検挙件数・人員は大幅に増加したほか、拠点施設の搜索等を通じて、勢力の活動実態解明を進めるなどしたことから、目標を達成した。



検挙人員は減少したものの、検挙件数はほぼ横ばいであり、取締り等を通じて勢力の実態解明を進めるなどしたことから、目標をおおむね達成した。



右翼による「テロ、ゲリラ」事件が発生したものの、検挙件数が大幅に増加したことから、目標をおおむね達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

各種訓練等による的確な警備措置の推進
 装備資機材や体制の充実強化 等

業績目標 2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処

業績目標達成のために行った主な施策

- 東日本大震災への対応
- 災害警備活動
- 大規模災害対策用資機材の整備
- 関係機関との情報交換等の連携
- 重大事案対処に係る各種訓練



(災害警備訓練)

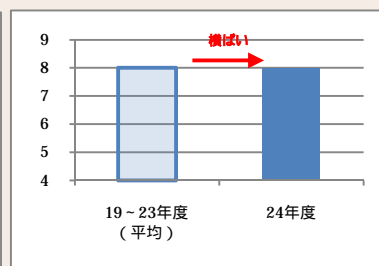
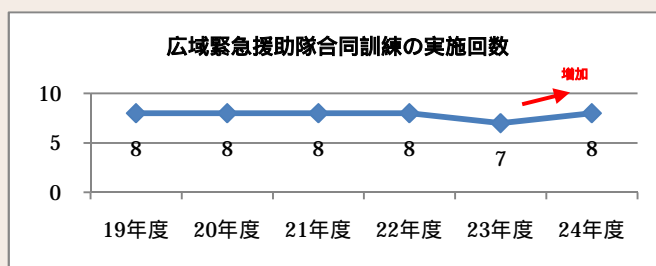
評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：大規模自然災害等の重大事案への対処に係る各種訓練の実施状況及び関係機関との連携

達成状況：

達成目標：各種実戦的訓練の実施及び関係機関との連携により、大規模自然災害等の重大事案への的確な対処に向けた取組を推進する。



- ・津波災害等を想定した各種訓練を実施するとともに、消防や自衛隊との合同訓練を実施
- ・各種災害の発生に伴い政府に設置された関係省庁連絡会議等において情報交換を行うなど、関係機関との緊密な連携を推進

業績指標：災害警備活動の実施状況

達成状況：

達成目標：重大事案発生に際し、被害の最小化に向けた災害警備活動を推進する。

- ・東日本大震災に伴い、各種災害警備活動を継続的に実施
- ・北九州北部豪雨の発生に際して、広域緊急援助隊を被災地へ派遣するなど、所要の体制を確立して災害警備活動を実施

政策への反映の方向性

引き続き推進

関係機関との連携強化及び各種訓練の徹底
 装備資機材や体制の強化
 各種警備措置や事案対処に当たる部隊の対処能力の更なる向上 等

業績目標 3 対日有害活動、国際テロ等の未然防止
及びこれら事案への的確な対処

業績目標達成のために行った主な施策

官邸、関係機関等との連携
外国治安情報機関等との多種多様な情報交換
情報収集・分析機能の強化



(爆発物原料販売事業者に対する協力要請)

評価結果の概要等

評価結果：

業績指標：国内外の関係機関との情報交換等の連携状況

達成目標：国内外の機関との情報交換を始めとした関係機関との連携を強化する。

- ・外事情報部長及び実務担当者による情報交換等を積極的に実施
- ・「国際テロ事件捜査セミナー」等、国際的な取組に積極的に参加
- ・税関等関係機関と緊密に連携した結果、24年度中に、対北朝鮮措置に係る違法行為を6件、対イラン措置に係る違法行為を1件、大量破壊兵器関連物資等不正輸出に関する事件を1件検挙

達成状況：

業績指標：国際テロの発生件数

達成目標：国際テロを未然に防止する。

- ・国内外の関係機関との連携を強化し、テロ関連情報の収集・分析を強化
- ・入国管理局、税関等の関係省庁と連携し、国際海空港における水際対策を実施
- ・爆発物原料販売事業者及び旅館業者等に対し、不審情報の即報等の協力を要請

達成状況：

業績指標：北朝鮮による拉致容疑事案、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出事案等対日有害活動に係る事案への取組状況

達成目標：取組を推進する。

- ・中古半導体製造装置販売会社役員による半導体製造装置プログラム不正輸出事件（7月・神奈川）
- ・北朝鮮工作員の会社役員による著作権法違反（複製権侵害）事件（1月・大阪）
- ・北朝鮮による拉致容疑事案について捜査を推進

達成状況：

政策への反映の方向性

引き続き推進

情報収集・分析体制の強化
国内外の関係機関との情報交換 等

基本目標 6 犯罪被害者等の支援の充実

業績目標 1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実

業績目標達成のために行った主な施策

- 被害者支援推進計画の推進
- 被害者支援に対する適正な支援の推進及び研修の実施
- 広報の推進
- 民間被害者支援団体との連携の推進



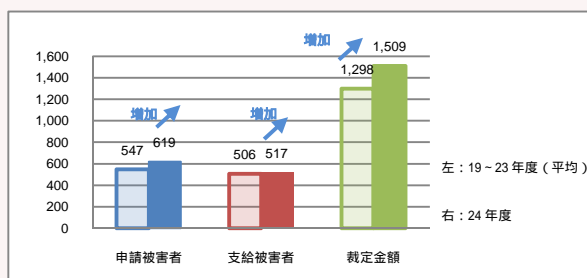
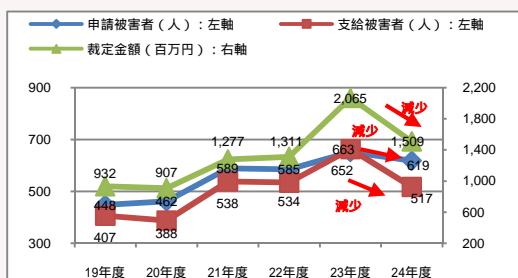
(被害者支援用車両内の様子(被害者は模擬))

評価結果の概要等

業績指標：犯罪被害給付制度の運用状況

達成目標：犯罪被害給付制度を適切に運用する。

達成状況：

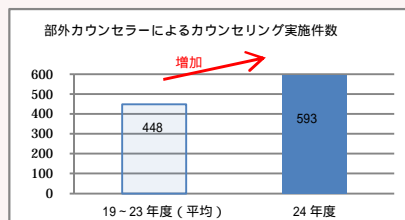
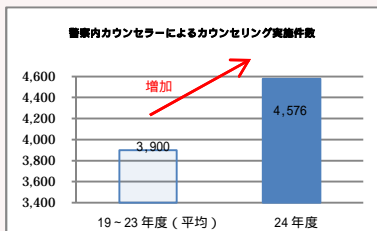


前年度と比べ、支給裁定を受けた被害者数等が減少しているものの、過去5年間の平均値と比較して増加していること等に鑑みると、犯罪被害給付制度は健全に機能していると認められることから、目標を達成した。

業績指標：犯罪被害者等に対するカウンセリングの実施件数

達成目標：警察部内カウンセラーの積極的な運用等により、犯罪被害者等に対するカウンセリングを的確に行う

達成状況：

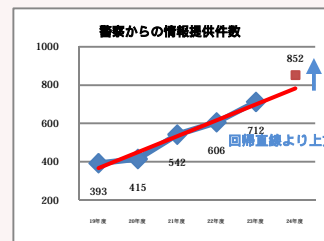
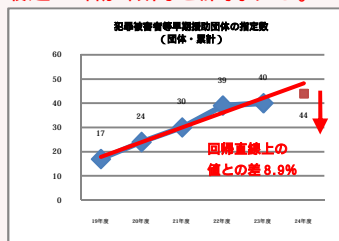


警察部内カウンセラーによるカウンセリング実施件数及び部外カウンセラーによるカウンセリング実施件数ともに、過去5年間の平均値よりも増加していることから、目標を達成した。

業績指標：関係機関・団体等との連携状況

達成目標：それぞれの指標について最近の増加傾向を維持する。

達成状況：



民間被害者支援団体における相談受件数は、回帰直線上の値(26,787人)との差が3.3パーセントと同等の水準を維持しているほか、犯罪被害者等早期援助団体の指定数は、回帰直線上の値(48団体)との差が8.9パーセントと10パーセント以内を維持しており、また、警察からの情報提供件数は、回帰直線上の値(782件)を上回っていることから、目標を達成した。

政策への反映の方向性

引き続き推進

犯罪被害者等に対するカウンセリングの更なる充実等

基本目標7 安心できるIT社会の実現

業績目標1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止

業績目標達成のために行った主な施策

サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る体制の強化
改正不正アクセス禁止法等に基づく取締りの推進
インターネット上の違法・有害情報対策の推進
重要インフラ事業者、産業界等との連携強化
サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る国際連携
情報セキュリティ対策に関する広報啓発



(電磁的記録の解析の様子)

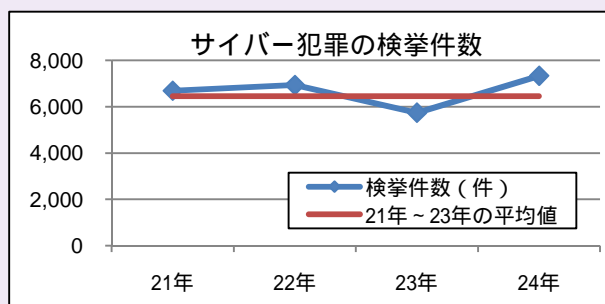
評価結果の概要等

業績指標 : サイバー犯罪(注1)の検挙件数

達成目標 : 過去3年間の平均値よりも増加させる。

評価結果 :

達成状況 :



(注1) 高度情報通信ネットワークを利用した犯罪やコンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪等の情報技術を利用した犯罪。

業績指標 : サイバーテロ(注2)の発生件数

達成目標 : サイバーテロの発生及び被害の拡大を防止する。

達成状況 :

・24年度のサイバーテロの発生件数は0件

(注2) 重要インフラの基幹システムに対する電子的攻撃又は重要インフラの基幹システムにおける重大な障害で電子的攻撃による可能性が高いもの。

ただし、一連の遠隔操作ウイルス等による犯行予告事案により、警察のサイバー犯罪捜査に対する信頼が大きく揺らぐとともに、情報通信技術の急速な発達に警察捜査が追いつけていないのではないかとこの不安を国民に与える結果となった。

政策への反映の方向性

緊急に推進

捜査力及び解析力の強化
サイバー犯罪・サイバーテロ対策等に係る体制及び資機材の整備
民間事業者、有識者等の知見の活用
国際連携の推進
広報啓発 等